

討論メモ

「米国のヴェネズエラ侵攻」

令和8年1月20日

森田晃司

1. 当月は、1月3日に発生した頭書の出来事に対して、下山健夫さんにAIを利用して、下記のごときレジメを作る試みをしてもらいました。短時間で詳細なレジメが作れる一方で、AIの立ち位置がどこにあるのか、窺わせるものでもあります。
 - ①。米国の重要戦略
 - ②。米国の西半球重視とその影響
 - ③。ヴェネズエラの歴史と現状
 - ④。今回の「絶対的決意作戦（Operation Absolute Resolve）」の詳細
 - ⑤。総括：他国の大統領を拘束するという異例の作戦であると同時にヴェネズエラの脆弱性を露呈した出来事
- と結んでいる。詳細は専用ページに掲載してあります。

2. 続いて出席者6名による自由討論に移り、下記のような意見が出されました。

- ・今回の作戦は、トランプの作戦というより、米国が昔からやってきた作戦だ。

米国の基本戦略で、常套作戦だ。

- ・今回の作戦の奥は深い、メジャーが動いているのではないか。

- ・米国のおひざ元のヴェネズエラの石油権益を中国から取り戻すのが作戦の目的だ。

- ・作戦はあまりにも鮮やかに成功した。内部からの手引きがあったのではないか。

- ・トランプは力による平和を求めているのではないか。

- ・トランプは平和賞を取りたがっている。

- ・関税などを利用するのも、戦争よりはましだと思っているのではないか。

- ・この作戦で、ロシアのウクライナ侵攻、中国の台湾侵攻を非難できなくなる。

- ・力は正義だ。

- ・石油資本は百年世界を抑えている。

- ・石油資本の指図でトランプは動かされている。

- ・いや、トランプは一方的に動かされているのではなく、駆け引きをしているの

ではないか。・ロシアはこの作戦に激しく抗議をしていない。米露で事前打ち合わせがあたのではないか。

- ・中国も不況のせいか、おとなしい。

- ・中国は不況と言われるが、貿易収支は伸びている。

- ・中国が苦しいのは不動産だけだ。

- ・同時期に、イランで五千人の犠牲者を出した暴動が起こっているが、これも米
国が画策したものだ。

- ・米国とイスラエルの共同作戦だ。

- ・グリーンランドも資源が豊富だ。

- ・こんな時に日本は大儀なき解散をしている。

- ・高市政権は、選挙に勝てないのではないか。

- ・日本がめっちゃめっちゃになりそうで心配だ。

- ・江戸時代には名君を輩出している。民主主義は見直されるべきだ。

以上